

地域学校協働連携NEWS

こちらの QR コードから、閲覧・ダウンロードができます→



地域の方との意見交換会～只見町立只見中学校～

1月7日（水）、只見中学校において、「生徒会役員に学校のリーダーである自覚をもたせ、生徒会活動を活発にすること」「生徒の自主的、実践的態度を養うこと」を目的に「地域の方との意見交換会」が行われました。

意見交換会は今年度2回目で、今回は、生徒会本部役員と学校運営協議会委員が小グループに分かれ、「みんなが行きたくなる只見中学校」をテーマとして、生徒会の取組や町立小学校の統合について協議を行っていました。



<只見中学校生徒の感想>

自分たちの提案に対して、肯定的な意見をたくさんいただきて、前向きな気持ちになりました。とても有意義な時間でした。

<只見中学校生徒の感想>

肯定的な意見をいただきうれしかったです。自分たちの考えに対するアドバイスもいただいたので、今後活動していく上での参考にしたいです。

<只見中学校生徒の感想>

小学校統合に対して不安がありました。地域の方や教育委員会の方が、様々なことを考えててくれているのだということが分かり安心しました。

取材の日は、ちょうど文部科学大臣優秀教職員表彰の受賞者発表があり、只見中学校は「社会に開かれた教育実践奨励賞」を教職員組織として受賞されました。今回の只見中学校の取組は、まさしく“社会に開かれた教育”につながるものだと思います。

参加した学校運営協議会委員の方は「生徒と地域、双方が意見を交わすことができるため、こういう会の運営は大変有意義に感じました。地域と子供が触れ合う機会は少なくなってきたていると感じますが、子供の発言には、地域に溶け込んで活動したいという内容がありました。そういう考え方をもっている子供たちと話し合いができる嬉しく思います。」とおっしゃっていました。

